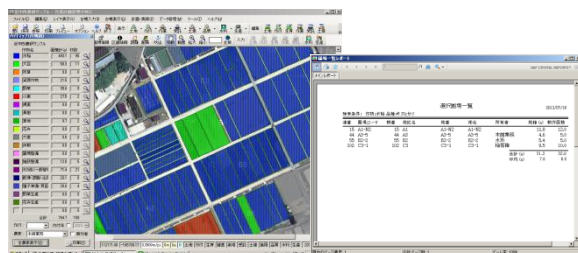


期待される効果

- ①農地・作物に関する情報を地理情報システムで管理することにより、扱える情報量が充実する。
- ②作業計画の策定・変更・管理・履歴把握に要する労力の低減が図られる。
- ③図面や調書などを地理情報システムで処理することにより、地図や各種調書の作成や集計作業が容易にできる。

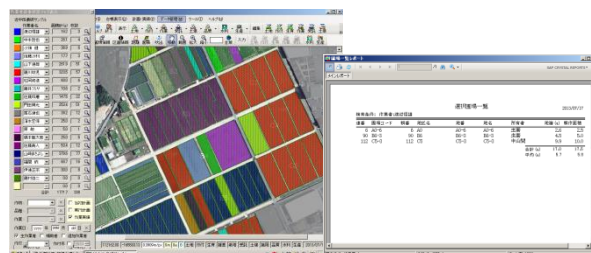
・作付品目・品種



作付マップ

作物・品種別調書

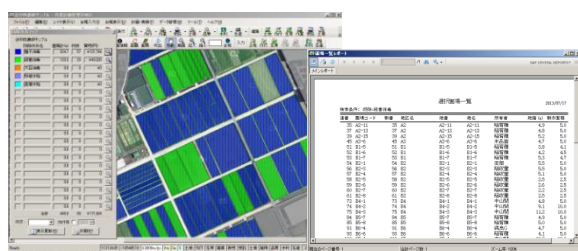
・作業者従事状況



作業者従事マップ

作業者別調書

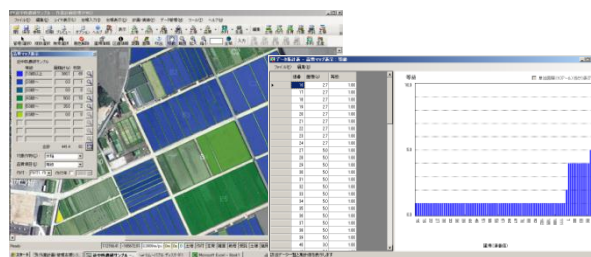
・防除体系



防除マップ

防除別調書

・品質(等級別)



等級別マップ

圃場別等級一覧

- ④上記のシステム機能例のほか、施肥・収量・機材使用・農薬使用・土壌・水利・出荷などの情報管理や作業計画計算・在庫管理を行うことができ、多様な営農計画・管理に活用することにより省力化を図ることができる。

今後の活用予定

県内の集落法人においては、設立後の農業経営の合理化・安定化が求められている。このため、本システムを導入していない法人への利活用拡大を図り、作業計画や管理に係る労力を省力化するための一助とする。

■お問い合わせ先

広島県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター 082-502-7478(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)